

平成27年度愛媛県県立高等学校入学者選抜の結果概要について

I 平成27年度愛媛県県立高等学校入学者選抜の実施状況

1 期日

- (1) 推薦（面接・作文等） 平成27年2月9日（月）
 (2) 一般（学力検査等） 平成27年3月11日（水）・12日（木）
 (3) 定時制2次（学力検査等） 平成27年4月2日（木）

2 志願者・合格者数等

区 分	全 日 制	定 時 制		
		1次募集	2次募集	合 計
志願者数	9,323 名	111 名	60 名	171 名
受検者数	9,306	108	56	164
合格者数	8,690 (1,565)	84	26	110

注1 全日制の（ ）内の数値は推薦で内数である。

2 定時制の合計は延人数である。

II 学力検査の成績概況

全受検者の平均点（全日制の課程）

年月 \ 教科	対象	国語	社会	数学	理科	英語	5教科計
27年3月	7,741人	31.0	26.8	26.9	23.6	27.1	135.4
26年3月	7,924	28.3	26.8	22.3	25.7	22.9	126.0
25年3月	8,224	30.4	25.7	27.6	28.7	28.1	140.5
24年3月	8,100	31.2	28.3	24.6	22.9	26.2	133.2
23年3月	8,071	26.7	27.4	24.9	23.7	29.5	132.2
22年3月	8,776	28.1	28.5	27.0	28.4	29.9	141.9
21年3月	8,624	28.0	31.5	28.0	25.9	29.7	143.1
20年3月	8,915	31.8	27.3	22.4	31.0	28.4	140.9
19年3月	8,932	31.4	33.8	26.1	33.1	28.6	153.0
18年3月	9,249	29.4	28.4	25.3	29.1	29.1	141.3

注 各教科50点満点

愛媛県県立高等学校入学者選抜

学力検査結果概要

平成 27 年度

愛媛県教育委員会事務局指導部高校教育課

目 次

I 全体的考察

1	学力検査問題作成の基本方針	1
2	成績概評	1
3	今後の留意点	1
4	成績概況（全日制の課程）	2
	（平均点・得点相対度数分布表・得点相対度数分布図）	
	（参考）学力検査の日程	5

II 各教科ごとの考察

1	国 語	6
2	社 会	8
3	数 学	10
4	理 科	12
5	英 語	14

I 全体的考察

1 学力検査問題作成の基本方針

学力検査問題の作成に当たっては、学習指導要領の趣旨に添って、中学校における平素の地道な学習活動の成果を適切に評価することができるよう配慮するとともに、高等学校教育を受けるに足る能力・適性等を正しく判定する資料を得ることをねらいとした。

そのため、各教科とも、特に次の点に留意した。

- (1) 中学校学習指導要領に示されている各教科の内容の基礎的・基本的事項を精選して出題した。
- (2) 単に知識の量だけを問う検査とならないよう留意し、論理的な思考力や総合的な判断力、表現力等を十分評価することができるよう配慮した。
- (3) 問題形式は、できるだけ記述式を多くすることに努め、選択肢法等を併用する場合にも、適切な設問となるよう配慮した。
- (4) 受検者の負担が過重にならないように、問題の量についても配慮し、考える時間を十分与えるよう努めた。

2 成績概評

各教科の成績については、それぞれの教科のところで記述するので、ここでは全般的なことについて述べる。

各教科の平均点は、いずれも5～6割程度の数値となっており、どの教科も基礎的・基本的事項の定着がみられるなど、中学校における日頃の学習活動の成果がうかがえた。

受検生は、各教科ともじっくりと考えて問題に取り組んでいる様子がうかがえるが、論理的な思考力や総合的な判断力、表現力が求められる問題では、正答率がやや下がる傾向がある。思考の結果だけでなく、その過程を大切に、筋道立てて考える態度を養うとともに、自分の考えをまとめ、条件に従って適切に表現する力の育成について、引き続き継続した指導を望みたい。

今後とも、各教科の指導において、学習指導要領の目指す学力観に立って、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、知識・技能の活用を図る学習活動や言語活動を充実し、見通しを持って論理的に思考する力、資料を適切に活用して判断する力、自分の意見を根拠に基づいて適切に表現する力等が一層養われることを期待したい。また、体験的な学習や問題解決的な学習を重視するとともに、生徒の興味・関心を生かして主体的に学習に取り組む態度を養い、「確かな学力」の育成が一層図られるよう、指導の工夫を引き続き期待したい。

3 今後の留意点

学力検査の結果から、次のような点に留意した学習指導の充実を期待したい。

- (1) 中学校においては、生徒に学習習慣を十分身に付けさせ、学習指導要領の各教科の目標を踏まえて基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るとともに、言語活動や問題解決的な学習を充実することによって、習得した知識・技能の活用を図り、論理的に思考する力、総合的に判断する力、思考・判断の結果を条件に従って適切に表現する力等を育成する指導が継続して行われることを期待したい。

また、各教科の指導に当たっては、生徒が学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりする活動を計画的に取り入れ、自ら進んで学習する態度を育むための指導を期待したい。

さらに、生徒一人一人の学習状況を適切に評価し、生徒の学習意欲の向上に生かすとともに、学習内容の充実・深化等により、学力の定着、能力の伸長がなお一層図られるよう、指導の工夫・改善が行われることを期待したい。

- (2) 高等学校においては、この学力検査の結果を的確に分析した上で、生徒一人一人の個性を生かし、その能力を十分に伸ばすことができるよう、個に応じた指導の充実を図るとともに、必要に応じて学校設定科目を開設するなど、義務教育段階での学習内容を含めた基礎的・基本的な内容の確実な定着に一層努めていただきたい。

また、各教科において、観察・実験をし、その結果を基にレポートを作成する、文章や資料を読んだ上で、知識や経験に照らして自分の考えをまとめて論述するといった、それぞれの教科の知識・技能の活用を図る学習活動を充実するとともに、教科等を横断した課題解決的な学習活動や探究活動を充実するなど、生徒の思考力・判断力・表現力等の育成を図るための指導方法の一層の工夫・改善を期待したい。

さらに、指導と評価の一体化を図る取組を進めるとともに、自己の将来を見据えさせることを通して、生徒の学ぶ意欲を喚起し、社会人として必要とされる知識・技能、資質・能力を身に付けさせることができるよう、学習指導の一層の充実を期待したい。

4 成績概況（全日制の課程）

- (1) 全受検者の平均点

教科	国語	社会	数学	理科	英語	5教科計
平均点	31.0	26.8	26.9	23.6	27.1	135.4

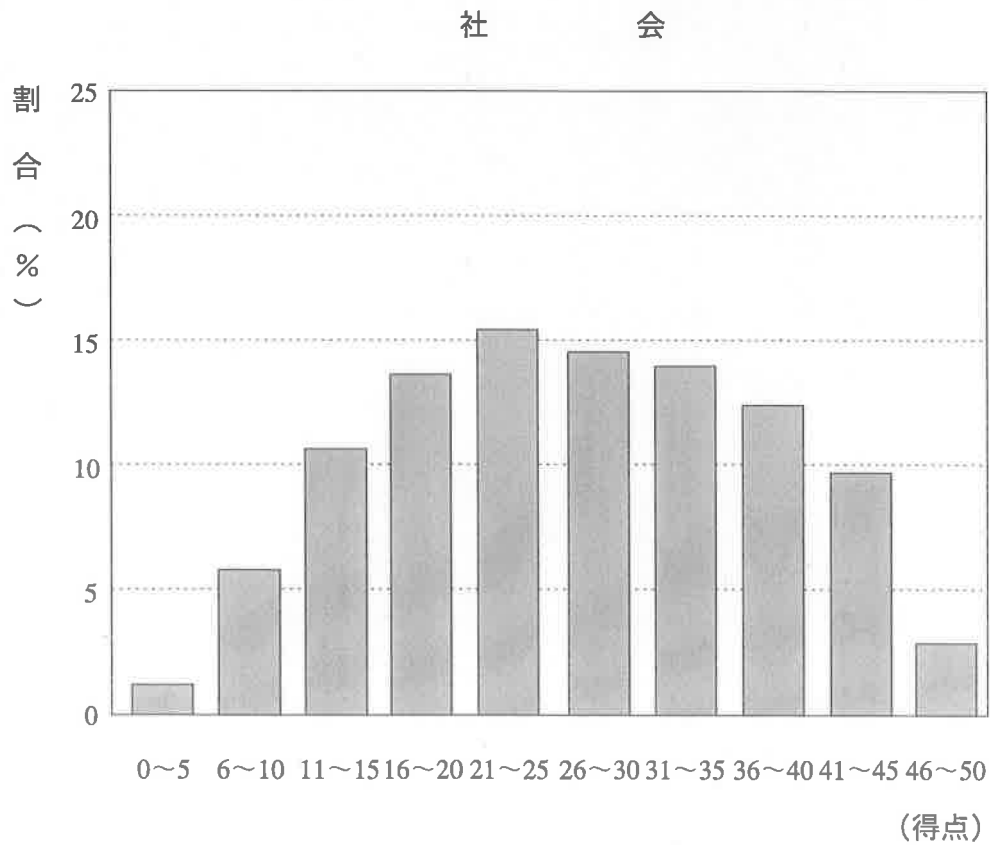
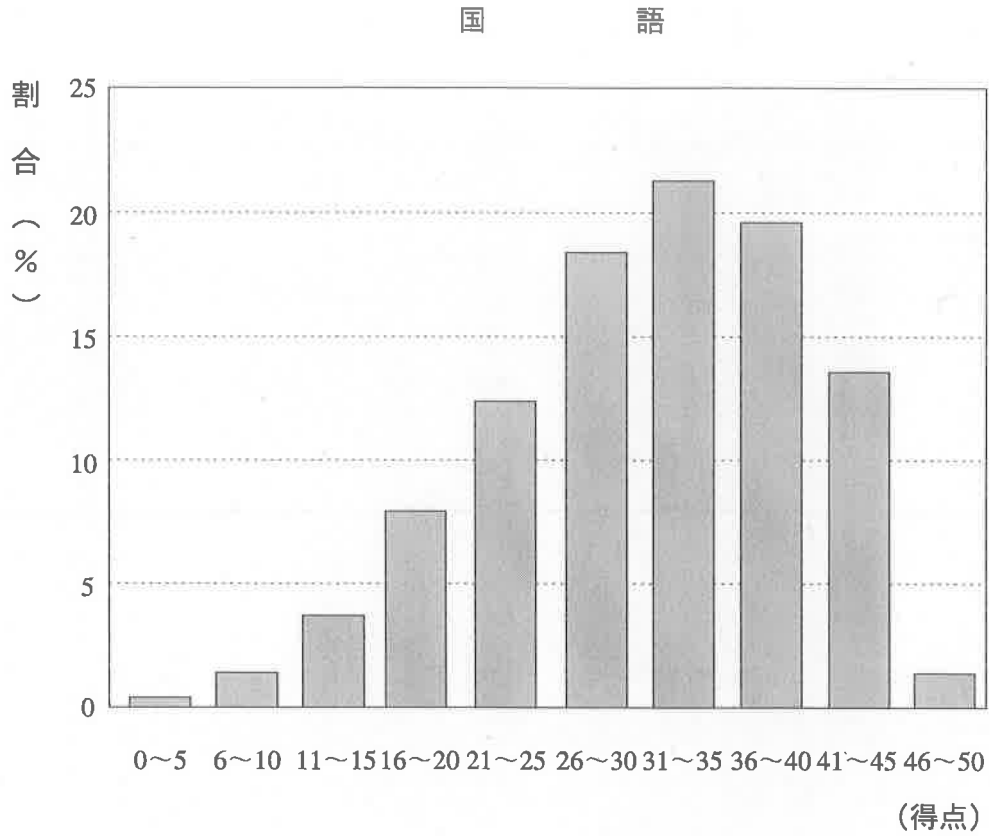
(各教科50点満点)

- (2) 各教科別得点相対度数分布表

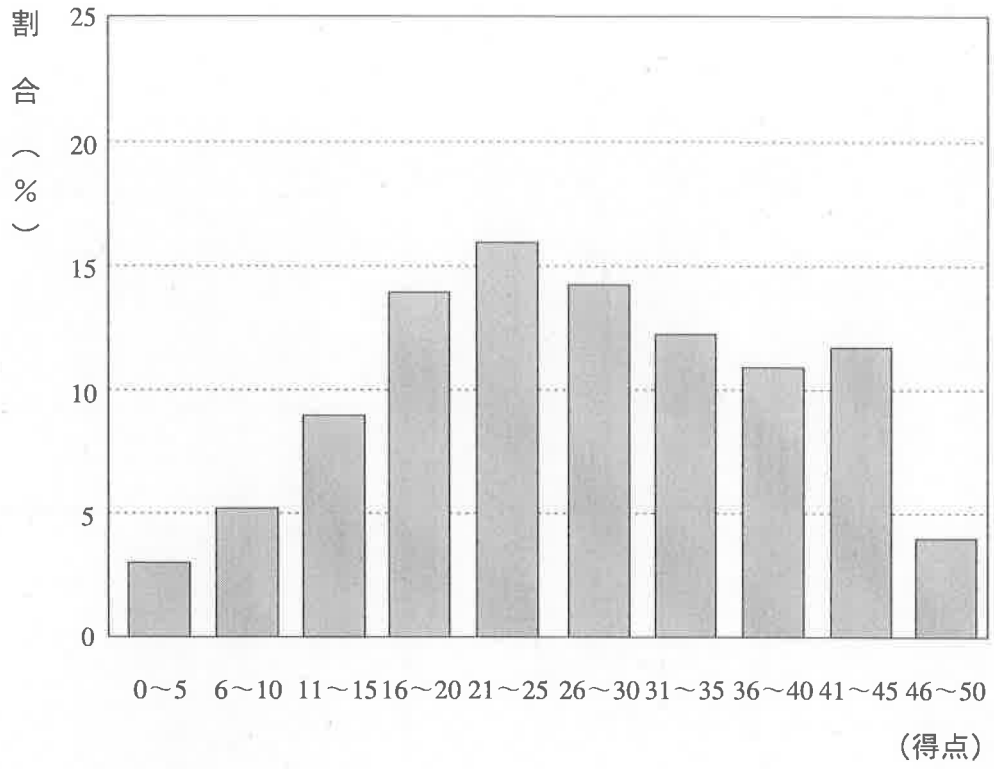
階級 \ 教科	国語	社会	数学	理科	英語
46～50	1.3	2.9	4.0	2.6	6.1
41～45	13.6	9.7	11.7	6.3	11.9
36～40	19.6	12.4	10.9	9.2	12.4
31～35	21.3	13.9	12.2	11.0	12.6
26～30	18.4	14.5	14.2	12.6	10.9
21～25	12.4	15.4	15.9	14.1	11.0
16～20	7.9	13.6	13.9	15.6	12.7
11～15	3.7	10.6	9.0	15.9	12.7
6～10	1.4	5.8	5.2	11.0	8.4
0～5	0.4	1.2	3.0	1.7	1.3

(単位：%)

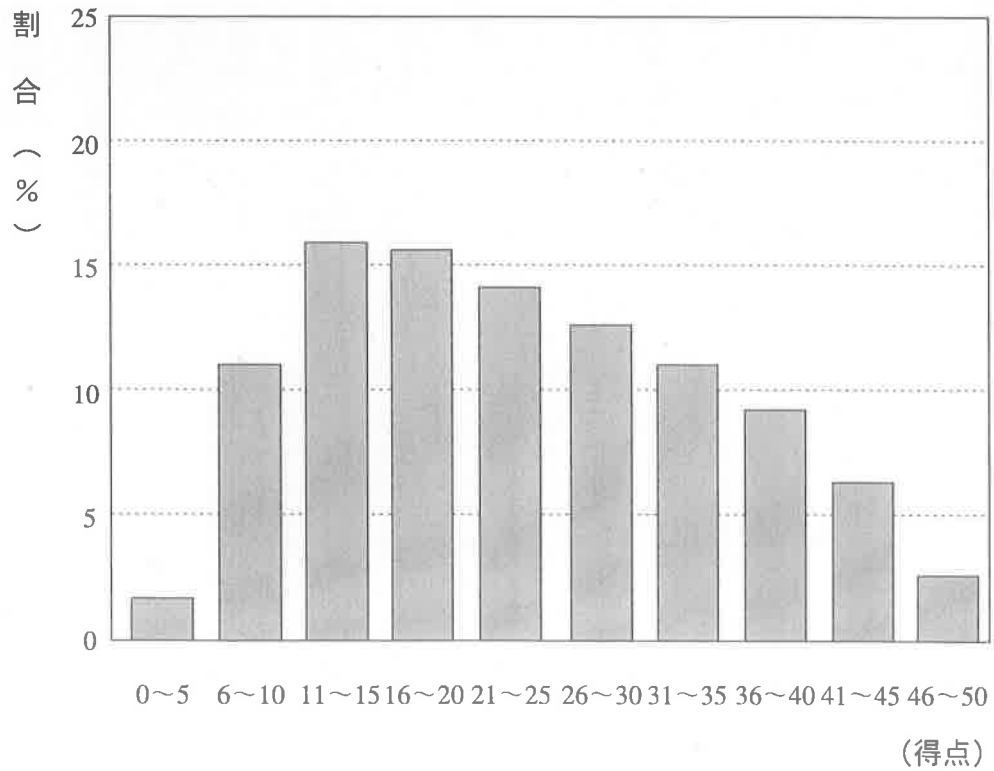
(3) 各教科別得点相対度数分布図



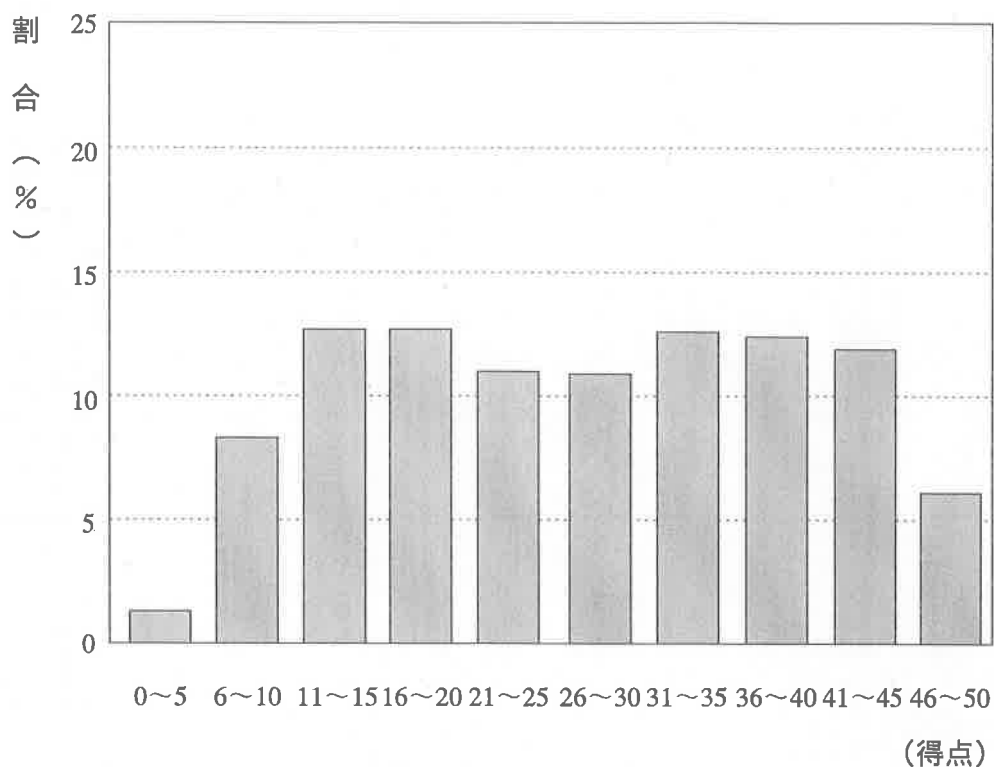
数 学



理 科



英 語



(参考) 学力検査の日程

期 日	時 間	教 科 等
平成 27 年 3 月 11 日 (木)	9:00 ～ 9:30	点呼・受検上の注意
	9:45 ～ 10:30	国 語
	10:45 ～ 11:10	国 語 (作文)
	11:25 ～ 12:15	理 科
	12:15 ～ 13:10	(昼 食)
	13:15 ～ 14:05	社 会
平成 27 年 3 月 12 日 (木)	9:00 ～ 9:30	点呼・受検上の注意
	9:45 ～ 10:35	数 学
	10:50 ～ 11:50	英 語
	11:50 ～ 12:50	(昼 食)
	13:00 ～	面 接

検査時間は、国語70分、英語60分で、社会・数学・理科の3教科はそれぞれ50分である。

なお、国語には25分の独立した時間を設けて作文を課し、英語には10分程度の聞き取りテストを課した。また、面接は、3月12日(木)学力検査終了後、志願者全員に対して実施した。

Ⅱ 各教科ごとの考察

1 国 語

問題のねらい

中学校における学習を通して身に付けた、国語の基礎的・基本的な力を、総合的に評価することができるように、次の点をねらいとして出題した。

- (一) 論説的文章について、文意の正確な読み取り、主旨の把握などの点から読解力及び論理的な思考力をみるとともに、熟語や文法に関する基礎的事項が理解できているかをみた。
 - (二) 文学的文章について、登場人物の心情などを読み取る力をみるとともに、表現上の工夫などが理解できているかをみた。
 - (三) 言葉への関心の度合いや基礎的な漢字を読む力をみた。
 - (四) 言葉の重要度や履修学年に配慮し、基礎的な漢字を書く力をみた。
 - (五) 平易な古文について、内容を読み取る力をみるとともに、歴史的仮名遣いの基礎的事項が理解できているかをみた。
- (作文) 提示されている資料を基に、自分の考えを、条件に従って文章にまとめさせることによって、論理的思考力や表現力をみた。

成績概評

基礎的・基本的な事項については、平素の地道な学習活動の成果をうかがうことができた。今後とも、国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにするための指導の充実を期待したい。

- 1 論説的文章の読解については、語意の理解や主旨の把握など基本的な読解力、文法の基礎的事項に関する知識はおおむね身に付いている。今後さらに、文意を正確に読み取り、読み取った内容を適切に表現する能力を養成するための指導の充実を期待したい。
- 2 文学的文章の読解・鑑賞については、登場人物の心情を読み取ることはおおむねできている。今後さらに、語彙を豊かにするとともに、表現の仕方について評価したり、書き手の意図を捉えたりするなど、文学的な文章を読み味わう力や、読み取った内容を条件に従って適切に表現する力を身に付けさせる指導の充実を期待したい。
- 3 漢字の読み書きについては、おおむねできているが、一部力が十分には身に付いていない面も見受けられた。今後とも、語感を磨き、抽象的な概念を表す語句など言葉への関心を深めるとともに、漢字の意味を理解させた上で漢字を正しい字形で書かせる指導の充実を期待したい。
- 4 古文については、内容を読み取ることや歴史的仮名遣いの基礎的事項の理解はおおむねできている。今後とも、古典を理解する基礎を養い、古典に親しむ態度を育成する指導の充実を期待したい。
- 5 作文については、テーマに対する自分の考えが書かれていないもの、資料を見て気づいたことが書かれていないもの、自分の考えの根拠が書かれていないもの、誤字・脱字があるものなどが多かった。今後とも、自分の考えに説得力を持たせるための適切で具体的な体験を加えたり、描写を工夫したりするなどの論理的思考力・表現力を身に付けさせる指導や、与えられた条件に従って適切に表現する力を身に付けさせる指導、適切な表記や段落分け等の作文の基礎的事項の指導の継続を期待したい。

国 語 (調査人数 802人)

問 題		正答率(%)	主 な 誤 答 例		
(一)	1	79	[a] ク [b] キ [a] エ [b] イ		
	2	95	エ		
	3	67	ウ、イ		
	4	a	96	農業を続ける、減少している	
		b	87	人口減少・高齢化、維持しているもの	
	5	56	このような厳しい環境の見方を変えると、都市農業ならではの姿が見えるし、消費者がすぐ隣に存在している		
	6	a	90	市民農園、つながり	
		b	70	顔が見える形、農山村と交流	
	7	65	ウ、ア		
	8	60	農業体験農園に参加すること、何よりも自分の考えを伝える		
9	61	関係性の希薄化による暮らしの質の低下が都市の			
(二)	1	50	無、後、連		
	2	78	イ、ア		
	3	(1)	25	胸にどろどろしたものが込み上げてくる気持ちになったこと	
		(2)	a	45	だけど読まずに罵詈雑言じゃ説得力に欠ける
			b	35	もともと創作とは事前に予想がつかないもの
4	51	ウ、エ			
(三)	1	82	ちょぞう、ちくぞう		
	2	80	りんこう、わりん		
	3	94	すこ、かろ		
	4	80	お、まい		
(四)	1	35	「類水」、「累推」		
	2	44	「粉気」、「奪起」		
	3	68	「沿びる」、「照びる」		
	4	69	「漏れる」、「蒸れる」		
(五)	1	88	みたりしに、ぬたりしに		
	2	42	〔最初〕すなは〔最後〕てみん 〔最初〕辺りへ〔最後〕んとす		
	3	a	91	船頭、暮れ	
		b	32	どうしても魚の一匹、二匹ほしく、家族に贈りたいから、魚を釣って私にほんの少しだけ分けてほしい	
c		87	稲を守る神、一網打たん		
作 文	得 点	比率(%)	<ul style="list-style-type: none"> ・読書に対する自分の考えが書かれていないもの。 ・資料を見て気づいたことが書かれていないもの。 ・自分の考えの根拠が書かれていないもの。 ・内容に応じた適切な段落分けができていないもの。 ・誤字・脱字が多く、既習の漢字が適切に使用されていないもの。 ・字数制限の条件を満たしていないもの。 ・表現や表記が適切でないもの。 ・原稿用紙使用上のきまりが守られていないもの。 		
	10	0			
	9	1			
	8	5			
	7	18			
	6	31			
	5	24			
	4	11			
	3	6			
	2	3			
1	1				
0	0				

(注) 正答率(%)は、少数第1位を四捨五入している。他の教科についても同様。

2 社 会

問題のねらい

中学校社会科の各分野から出題し、幅広い社会的事象について、基本的な事項の理解や思考力・判断力・表現力等の能力、資料を適切に活用する技能を総合的に評価できるよう留意した。

- (一) 古代から近世までの我が国の主なできごとや社会の様子について、基本的な事項を正しく理解できているか、また、資料を適切に活用できるかをみた。
- (二) 近現代における我が国の主なできごとについて、世界の動きと関連付けて正しく理解できているか、また、思考・判断した結果を適切に表現することができるかをみた。
- (三) 我が国の選挙のしくみや内閣の役割、地方自治について、基本的な事項を正しく理解できているか、また、資料を適切に活用できるかをみた。
- (四) 企業や雇用、租税、貿易について、基本的な事項を正しく理解できているか、また、資料を適切に活用して思考・判断することができるかをみた。
- (五) 我が国の位置や自然、産業等について、基本的な事項を正しく理解できているか、また、地図を活用して思考・判断した結果を適切に表現することができるかをみた。
- (六) 世界の国々の位置や自然、産業、文化等について、基本的な事項を正しく理解できているか、また、統計資料を適切に活用して思考・判断することができるかをみた。

成績概評

地理・歴史・公民の各分野において、基本的な事項の理解ができており、中学校での学習活動の成果をうかがうことができた。今後とも、基本的な事項の理解を確かなものにするとともに、資料を適切に活用しながら思考・判断する力や、思考・判断した結果を表現する力を育てる継続的な指導を期待したい。

- 1 近世の我が国の社会の様子について、資料を適切に活用する力が身に付いている。古代から近世までの我が国の主なできごとについては、今後、基本的な事項の理解を確かなものにする指導の充実を期待したい。
- 2 近現代における我が国の主なできごとについて、基本的な事項の理解ができているとともに、資料を基に思考・判断した結果を適切に表現する力が身に付いている。今後も、我が国の歴史の流れを当時の世界の動きと関連付けて理解させる指導を期待したい。
- 3 我が国の選挙のしくみと内閣の役割について基本的な事項の理解ができているとともに、資料を適切に活用する力が身に付いている。地方自治については、今後、基本的な事項の理解を確かなものにする指導の充実を期待したい。
- 4 企業と雇用について基本的な事項の理解ができているとともに、資料を適切に活用して思考・判断する力が身に付いている。租税、貿易については、今後、基本的な事項の理解を確かなものにする指導の充実を期待したい。
- 5 我が国の自然、産業について、基本的な事項の理解がよくできているとともに、地図を活用して思考・判断した結果を適切に表現する力が身に付いている。我が国の位置については、今後、基本的な事項の理解を確かなものにする指導の充実を期待したい。
- 6 世界の国々の位置や産業、文化等について、基本的な事項の理解がよくできているとともに、地図や統計資料を適切に活用して思考・判断する力が身に付いている。世界の国々の自然については、今後、基本的な事項の理解を確かなものにする指導の充実を期待したい。

社 会 (調査人数 802人)

問 題	正答率 (%)	主 な 誤 答 例		
(一)	1	85	東大寺、金閣寺	
	2	5	聖武、桓武、天智	
	3	43	ウ、イ	
	4	28	ア→イ→エ→ウ	
	5	52	総石高が増えていないので、1 ha当たりの収穫量も増えていない	
	6	44	エ、イ	
	7	17	イ・エ	
(二)	1	70	版籍奉還、王政復古の号令	
	2	57	伊藤博文、夏目漱石	
	3	48	ア、ウ	
	4	53	ア、ウ	
	5	53	イ、エ	
	6	87	金属を使うと兵器だと思われる	
	7	63	アメリカ、中国	
(三)	1	(1)	53	政党の得票数が議席の3分の2となる。
		(2)	63	ア、ウ
		(3)	58	最高裁判所
	2	(1)	31	民主化
		(2)	48	イ・エ、ア・ウ
	3	80	エ、イ	
(四)	1	52	ウ、イ	
	2	75	共同、労働	
	3	47	輸入品の価格が上がり、自社製品の販売量が減る	
	4	51	累進課税、地方税	
	5	63	ウ、エ	
(五)	1	34	ア、ウ	
	2	52	イ	
	3	62	シラス台地、扇状地	
	4	77	降水量が多いので、ため池をつくり、農業用水として使う。	
	5	57	い－高知、え－沖縄	
	6	50	ア、ウ	
(六)	1	(1)	75	ア、エ
		(2)	69	ウ
	2	(1)	35	偏西風、季節風
		(2)	77	イ
	3	(1)	72	大半の人々がヒन्दゥー教を信仰していること。
		(2)	30	い－タイ

3 数 学

問題のねらい

中学校の数学の全領域にわたって出題し、基礎的・基本的な内容の理解をみるとともに、数学的な見方や考え方、表現や処理の仕方が身に付いているか、また、それらを活用して、見通しを持ち筋道を立てて問題解決ができるかを適切に評価できるよう配慮した。

- (一) 数と式についての基礎的な知識・技能をみた。
- (二) 二次方程式、度数分布表、確率、立体図形の計量、作図、連立方程式など、数と式、図形、資料の活用について、基礎的な知識・技能が習得できているかをみるとともに、それらを用いて問題を解決することができるかをみた。
- (三) 規則に従ってさいころをつなげていくとき、表面にかかれた目の数の和について、規則性を見つけ、事象を数理的に考察したり、見通しを持って問題を解決したりすることができるかをみた。
- (四) 一次関数及び関数 $y = ax^2$ のグラフの特徴に関連して、関数についての知識・技能及びそれらを活用して問題を解決する力が身に付いているかをみた。
- (五) 平面図形の論証において、推論の過程を表現する力とともに、図形を直観的にみたり論理的に考察したりする力をみた。

成績概評

計算問題など基礎的・基本的な知識・技能をみる問題の正答率が高い。一方、関数や図形を考察する問題については、正答率の低いものも見られた。全体的な傾向として、中学校における基礎的・基本的事項の定着を図る指導の充実ぶりがうかがえた。

- 1 数と式についての基礎的な計算問題の成績は良好である。無理数の計算についても正答率が高く、日頃の指導の成果が現れている。
- 2 二次方程式や確率の基本的事項については、よく理解できているが、円すいの側面の展開図の中心角を求める問題や連立方程式の問題では、理解がやや不十分な面が見られた。引き続き、基礎的・基本的な内容の定着を重視するとともに、操作や実験などの活動を積極的に取り入れ、数学的な概念や図形に対する感覚を身に付けさせる指導の充実が望まれる。
- 3 規則性を捉え、文字を用いて量を表現し、それを用いて問題を解決することについて、理解が不十分な面が見られた。日頃の学習において、事象を数理的に考察し、見通しを持って問題の解決を図る態度を育成する指導の工夫が望まれる。
- 4 関数のグラフの特徴に関連した問題については、理解がやや不十分な面が見られた。式やグラフで表した結果を用いて、更に新たな問題を考察するといった学習についても、今後の指導の成果を期待したい。
- 5 平面図形については、証明問題において考察や推論の不明確さが目立った。数学的活動の充実を図り、論理的思考力や直観的判断力を伸ばすとともに、自分の考えを根拠を明らかにして筋道を立てて説明したり、思考の過程を正確に記述したりする力を身に付けさせる指導の充実が望まれる。

数 学 (調査人数 802人)

問 題		正答率(%)	主 な 誤 答 例		
(一)	1	99	- 5、4		
	2	93	$\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{32}$		
	3	93	- 5x - 6y、 - 5x - 18y		
	4	86	- 8b、 - 8ab		
	5	83	$6 - 6\sqrt{3}$ 、 $6 - 25\sqrt{3}$		
	6	85	$2x^2 + 2x + 13$ 、 $x^2 + 3x + 13$		
(二)	1	73	x = 3、4、 x = - 4、3		
	2	(1)	59	22、12~16	
		(2)	54	5、27	
	3	63	$\frac{1}{2}$ 、 $\frac{3}{4}$		
	4	(1)	64	$\sqrt{29}$ 、 $2\sqrt{3}$	
		(2)	40	135、72	
	5	57	作図が正しくできていないもの		
6	49	連立方程式の立式が正しくできていないもの			
(三)	1	ア	85	5、4	
			イ	47	43、51
			ウ	37	54、67
		(2)	16	$28n - 7$ 、 $7n + 14$	
	2	6	用いたさいころの個数…7個、1個目のさいころの左端の面の目の数…4 " " …10個、" " …4		
(四)	1	74	13、-18		
	2	58	$y = - 5x + 12$ 、 $y = - x + 8$		
	3	ア	式	$\frac{1}{2}t^2$ 、 t^2	
			グラフ	グラフが正しくできていないもの	
		イ	式	- t + 6、 $\frac{1}{2}t$	
			グラフ	グラフが正しくできていないもの	
		(2)	22	3、2	
(五)	1	24	正しく筋道を立てて証明することができていないもの		
	2	(1)	27	4、5	
		(2)	0	3 : 4、4 : 5	

4 理 科

問題のねらい

中学校理科の各分野から出題し、自然の事物・現象の観察、実験において、基礎的な技能を身に付け、興味・関心及び目的意識を持って、自然を科学的に探究する能力と態度が養われているかを評価できるように留意した。また、自然の事物・現象について基本的な事項の知識や理解を深め、科学的な見方や考え方をすることができるかを適切に評価できるよう配慮した。

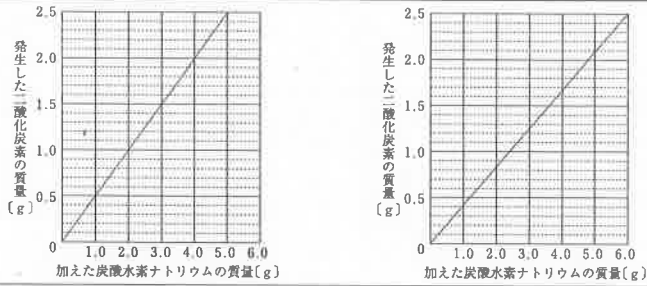
- (一) 運動とエネルギーに関する基本的な事項が理解できているかをみるとともに、回路の電流や電圧の規則性を調べる実験を通して、科学的な見方や考え方が身に付いているかをみた。
- (二) 塩酸の性質や炭酸水素ナトリウムと塩酸の化学反応における量的関係を調べる実験を通して、物質の性質や化学変化について基本的な事項が理解できているかをみるとともに、実験結果をグラフ化する力や論理的思考力をみた。
- (三) 植物の光合成や呼吸を調べる実験を通して、植物の体のつくりや働きを科学的に探究する能力が身に付いているかをみるとともに、ヒトの排出器官の働きについて基本的な事項が理解できているかをみた。
- (四) 地震の伝わり方に関する基本的な事項が理解できているかをみるとともに、地球の自転・公転と天体の動きとの関係について科学的な見方や考え方をすることができるかをみた。
- (五) 自然の事物・現象について興味・関心及び目的意識を持って観察、実験を行うなど、科学的に探究する能力の基礎と態度が養われているかをみた。

成績概評

各分野の基礎的・基本的事項はおおむね理解できており、日頃から観察、実験を中心にした体験的な学習活動が進められていることがうかがえた。今後とも、日常生活との関連を図りながら、自然を科学的に調べる能力と態度を育てるとともに、課題解決の過程を通して、科学的な見方や考え方を養う継続的な指導を期待したい。また、観察や実験の結果を分析して解釈する能力や観察したことを表現する力を養う指導の充実を期待したい。

- 1 運動とエネルギーに関する基本的な事項はおおむね理解できているが、回路の電流や電圧の規則性を見いだす事項は、理解がやや不十分な面が見られた。今後は、実験結果やグラフから規則性を見だし、科学的に考察する態度を育てる指導の充実を期待したい。
- 2 物質の性質や化学変化に関する基本的な事項は理解できている。今後とも、目的意識を持って観察、実験を行う態度を養うとともに、論理的に思考し、グラフから化学反応の量的関係を読み取る力を育成する指導を期待したい。
- 3 生物の体のつくりや働きに関する基本的な事項はよく理解できており、科学的な見方や考え方が身に付いている。今後とも、目的意識を持って主体的に観察、実験に取り組みせるなど、生物に対する興味・関心を高める継続した指導を期待したい。
- 4 地震の伝わり方に関する基本的な事項は理解できているが、地球の自転・公転と天体の動きとの関係を見いだす事項は、理解がやや不十分な面が見られた。今後は、継続的な観察を通して、天体の位置関係や動きについて相対的な見方や考え方ができるよう指導の工夫を期待したい。
- 5 自然の事物・現象に関する基本的な事項はよく理解できている。今後とも、科学的な知識や概念を活用したり実社会や実生活と関連付けたりしながら、科学的な見方や考え方を、自然に対する総合的なものの見方を育てることを重視した指導の充実を期待したい。

理 科 (調査人数 802人)

問 題		正答率(%)	主 な 誤 答 例		
(一)	1	(1) ①と②	93	①ア ②イ、①イ ②ア	
		(1) ③と④	72	③ア ④ア、③イ ④イ	
		(2)	43	10、30	
	2	(3)	31	2、5	
		(1)	46	50mAにつなぎ、次に5Aにつなく。 50mAにつないだあと、500mAにつなく。	
		(2)	33	2.5、5	
(二)	1	(3) ①	32	10、20	
		(3) ②	19	2、3	
	1	(1) 気体Zの名称	53	水素、二酸化炭素	
		(1) イオン式	47	H ⁺ 、OH ⁻	
	2	(2) ①と②	50	①ア ②イ、①ア ②ア	
		(2) ③と④	66	③ア ④イ、③イ ④イ	
	2	(1) ①	88	オーム、フック	
		(1) ②	46	種類と数は比例するから。 種類と数が変わるから。	
		(2)	38		
		(3) 二酸化炭素	20	2.0、6.0	
(三)	1	(3) うすい塩酸	21	10.0、5.0	
		(1)	57	類似実験、模擬実験	
		(2) ①と②	87	①イ ②エ、①ア ②ウ	
		(3)	50	光合成を行わず、呼吸だけをしたから。 光合成と呼吸で発生した量が同じくらいだったから。	
	2	(4) ①と②	56	①イ ②ア、①ア ②イ	
		(4) ③と④	69	③ア ④ア、③ア ④イ	
		(1)	73	ヘモグロビン、アルコール	
		(2) 記号と名称	68	記号 エ 名称 小腸、記号 ウ 名称 すい臓	
(四)	1	(3) ①と②	39	①イ ②ウ、①ア ②ウ	
		(1) ①と②	41	①イ ②ウ、①ア ②ウ	
		(2)	69	イ、エ	
		(3)	54	イ、ウ	
	2	(4)	61	ウ、イ	
		(1) ①と②	19	①ア ②エ、①イ ②ウ	
		(2)	27	ア、ウ	
		(3)	30	ア、エ	
	(五)	1	(4) ①と②	33	①イ ②太陽の影に入った。
			(5)	28	イ、ア
		2	(1)	73	AA、aa
			(2)	59	ウ、ア
3		(1)	57	イ、ウ	
		(2)	32	アイエウ、アイウエ	
4		(1)	13	1000、250	
		(2)	28	20、25	
4	(1)	56	ウ、ア		
	(2)	73	ウ、ア		

5 英 語

問題のねらい

中学校で学習した英語の全領域にわたって出題し、基礎的・基本的な事項に重点を置くとともに、言語活動の成果が十分評価できるよう配慮した。

- (一) 日常見聞きする身近な対象を描いている絵などを見ながら、短い対話文を聞いて、その内容を正しく聞き取る力をみた。
- (二) 比較的長い英文を聞き、話題の中心を捉えて、その内容を正しく聞き取る力をみた。
- (三) 日頃のコミュニケーション活動でよく使われる基本的な対話文について、その内容を理解し、空所に適語を補充したり、自然な対話となるように英文を正しく完成したりすることを通して、基本的な語彙力や表現力をみた。
- (四) 比較的長い対話文を読んで、対話の流れに合うように適切な英文を当てはめたり、文脈に応じた適切な英文や自分の考えを伝える英文を書いたりすることなどを通して、理解力や表現力をみた。
- (五) 長い英文を読んで、中心となる事柄など大切な部分を捉えて的確に理解したり、本文の内容を簡潔にまとめたりする力など、英語に関する総合的な力をみた。

成績概評

基礎的・基本的な事項はおおむね理解できており、日常の言語活動を大切にする指導の成果がうかがえた。今後とも、英語表現に関する基礎的な能力や英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に努めるとともに、4領域の言語活動を総合的に行い、調和のとれた能力を育成する指導を期待したい。

- 1 (一)の絵を見ながら短い対話文を聞き取る問題は全体的によくできており、平素の望ましい言語活動の成果がうかがえた。
- 2 (二)の聞き取りの問題は比較的よくできていた。今後とも、聞くことを大切にする指導を行い、まとまりのある文章の概要や要点を聞き取る力を育成することが一層望まれる。
- 3 (三)の日常的なコミュニケーションの場面でよく使われる対話文を完成させる問題は、比較的よくできており、日常のコミュニケーション活動における、基本構文の定着を図る指導の成果がうかがえた。
- 4 (四)の対話文の内容は比較的よく理解できていたが、文脈に応じて英文を書く問題などでは、基本的な語法上の誤りが多かった。音声による表現力を育成するとともに、文章で内容を的確に表現する力を育成することが望まれる。
- 5 (五)の長文では、文の内容はおおむね理解できており、読解力を高める指導の成果がうかがえた。今後とも、まとまりのある文章を読んで、その概要や要点を捉えたり、文と文との関係に留意しながら論理的推論によって内容を正しく理解したりする力など、総合的な読解力の養成を一層期待したい。

英 語 (調査人数 802人)

問 題		正答率(%)	主 な 誤 答 例	
(一)	1	76	ア	
	2	92	ウ	
	3	85	ア	
	4	81	イ	
(二)	1	77	エ	
	2	43	ア	
	3	74	ウ	
	4	70	イ	
(三)	1	(1)	use、used、useful	
		(2)	little、likes、learn	
		(3)	five、first、for	
	2	(1)	イアウエ、アエウイ	
		(2)	ウエアイ、ウアイエ	
	(四)	1	①	ア
②			ア	
2		(ア)	冠詞の誤り (the my uncle's house など)	
		(イ)	代名詞の誤り (make they、make there、make then など)	
3		27	enjoy、cooking など	
4		26	エウ	
5		(1)	40	ウ
		(2)	59	エ
		(3)	47	ア
6		(1)	39	所有格の誤り (I favorite place など)
		(2)	30	語数不足、動詞の基本用法の誤り (I like read など)
(五)		1	(A)	loving、helped など
	(G)		make、makes など	
	2	61	イエア	
	3	56	ウ	
	4	27	「温室効果ガスを出すこと」など	
	5	(a)	64	エ
		(b)	49	イ
		(c)	55	ウ
	6	19	ア、カ、キ	